

令和元年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→

評価項目		令和元年度計画		実施状況		評価							
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価						
1 能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会の提供	自然環境や空間特性を生かし、社会的包摂を意識し幅広い市民が能楽等を知り、学ぶことができる事業の実施	「日本舞踊早わかりWS」			チェック		【成果】 ・日本舞踊基礎講座、能楽講座新規受講生獲得のためのワークショップは、DM配送先やチラシ配布箇所の効果的選別を行なった。 日本舞踊については、多くの方に参加いただけるようにワークショップの料金を安く設定したところ、予想以上に多くの参加があったが、講座受講には至らなかった。能楽については、ワークショップの受講生から予想を超える講座への入会申込があり、愛好者の蓄積を進めた。 ・「怪談ナイト」は久良岐能舞台の自然特性を活かし、庭園にホラーテイストな飾りつけを行い、能舞台では講師による怪談話を実施した。夏休みという事もあり、親子連れのお客様が多数参加され、初めて久良岐を訪れるお客様も多かった。大変ご好評いただいたので、久良岐能舞台認知度向上のため、来年度以降も実施を検討。 ・「怪談ナイト」は久良岐能舞台の自然特性を活かし、庭園にホラーテイストな飾りつけを行い、能舞台では講師による怪談話を実施した。夏休みという事もあり、親子連れのお客様が多数参加され、初めて久良岐を訪れるお客様も多かった。大変ご好評いただいたので、久良岐能舞台認知度向上のため、来年度以降も実施を検討。 ・「所蔵能装束公開展示」では茶の湯と人形劇を実施。装束の説明パネルには英文表記を追加し、幅広いお客様に楽しんでいただけるよう工夫した。悪天候により、参加者は少なかったが、無料で開放したことで、初めて来館されるお客様が多く、知名度の向上につなげることができた。人形劇については、能舞台の利用者で発表の場を探していると同だったので、声かけをし、装束展で公演を行った。 ・「所蔵能装束公開展示」では茶の湯と人形劇を実施。装束の説明パネルには英文表記を追加し、幅広いお客様に楽しんでいただけるよう工夫した。悪天候により、参加者は少なかったが、無料で開放したことで、初めて来館されるお客様が多く、知名度の向上につなげることができた。人形劇については、能舞台の利用者で発表の場を探していると同だったので、声かけをし、装束展で公演を行った。 ・「橋弁慶」の能公演では、演じているのはどの場面なのか分かるよう、場面解説のハンドブックを配布。シーンに合わせてめくりをめくることで手元のハンドブックでシーンを確認できる仕組みを作成。お客様にもご好評頂けた。また、公演前に解説を行うことで、初心者の方でも分かりやすく観られるよう努めた。 ・「久良岐ワールド」では、環境を活かした落ち着いた空間を提供。茶の湯とクラシックコンサートでゆったりした時間を過ごしていただいた。一流の演奏家による質の高い催し物を行うことで、久良岐能舞台のイメージを高めて、将来的には広く遠くからでも、様々な方に来館いただきたいと考えている。今回の公演も、普段の公演とは別の客層の方々にお越し頂けた。 ・新規顧客獲得のために、これまでの客層とは違う方々をターゲットにして「KURAKIコンサート」を実施。多方面で活躍するアーティストの方々による久良岐能舞台発のユニットのコンサートを行った。さらに世界で活躍するパフォーマーとのコラボレーションも行った。これにより、幅広い世代・地域からの参加があり、知名度向上に繋がった。 ・「サキの國2～出張版～」は、昨年度大変好評をいただき、チケットも即完売した公演を、近隣の磯子公会堂で実施。海外で活躍するパフォーマーを呼んで、能楽師、KURAKIのユニットとのコラボレーション、さらに映像も組みこむことで、観客の楽しみをさらに広げ、公演の魅力を高めることに努めた。	■実施時期	5月	5月12日	-	虫干しを兼ねた恒例の装束展示。同時に人形劇、茶の湯も提供。	【評価できる点】 ・久良岐能舞台の知名度向上や新規顧客の開拓に向けて環境を活かした「怪談ナイト」、能楽等の古典芸能と他の芸術分野のアーティストとのコラボレーションを行うことにより、能楽等に親しむきっかけの提供を行う「KURAKIスペシャルコンサート」など、久良岐能舞台の認知度向上を進めていることが確認できました。 ・「所蔵能装束公開展示」では、説明パネルに英語表記を追加するなど、外国人取り込みに向けた工夫や、能楽の公演時には解説のハンドブックを工夫して作成することで、能楽鑑賞の初心者等にも対応するなど、様々な方が能楽を楽しむ事が出来る取組を評価します。 ・事業において、積極的にアンケートを回収し、来館者のニーズに応じた事業を実施したことにより、高い満足度を得ていることを確認しました。 ・地域を中心とした子供たちが能楽等に触れる機会として、「4歳児からの能楽」や横浜市芸術文化教育プラットフォームと連携したアウトリーチ事業など、本物の能舞台での鑑賞機会の提供をするなど、積極的な対応の継続を高く評価します。事業の内容についても、古典芸能に親しみやすい内容にすることや、学校で扱うにあたって適切なサポートを行っていることが確認でき、事業の趣旨や目的が達成できています。 ・日本舞踊や能楽講座の受講者の多くが初級から中級に進み長い期間、当館に通い古典芸能に触れていられる取組の確認が出来ました。 さらに、受講者を増やすためのワークショップ、満足度を上げる専門講師によるサポートなどを継続して行い古典芸能の愛好者の育成に寄与していることを評価します。 ・ウェブサイトやダイレクトメールの活用等、施設や事業の魅力伝えるための情報発信を積極的に行い、リピーターの増加等の効果をあげていることを評価します。 ・個人情報の漏えい等がないよう、随時研修を行うなど、職員一人一人が個人情報の取扱いやコンプライアンスに注意をはらい、適切に取組を行っていることが確認できました。 ・地域と積極的に関わることにより、市民の方のサポートを得て運営が行われているとともに、地域の文化的コモンズとなり様々な市民が足を運びやすい場となるよう、事業を進めていることが確認できました。
		□参加者数	50名	121名	A	予想以上に多くの方が参加された。							
		□顧客満足度	90%以上	100%	A	アンケート回収率52.9%							
		「久良岐能楽体験大会」											
		■実施時期	6月	6月23日	-	能楽講座受講生募集のためのワークショップとして実施。							
		□参加者数	40名	35名	B	目標には届かず。							
		□顧客満足度	90%以上	100%	A	来場者にヒアリング実施							
		「怪談ナイト」											
		■実施時期	8月	8月3日	-	久良岐能舞台知名度向上の取り組みとして実施。							
	□参加者数	100名	102名	B	幅広い年代の方が参加された。								
	□顧客満足度	90%以上	98%	B	アンケート回収率61.8%								
	2 市民の能楽等への関心や理解を深める機会として、久良岐能舞台所蔵の能装束等の展示・公開の実施	「所蔵能装束公開展示+人形舞踊」											
		■実施時期	9月	9月8日	-	悪天候により、参加者は少なかった。							
		□参加者数	100名	47名	C	アンケート回収率55.3%							
		□顧客満足度	90%以上	100%	A								
		3 新規利用者の増加に向け、能楽等を中心とした様々な伝統芸能鑑賞等の機会の提供	「能楽の魅力発信プロジェクト能 橋弁慶」										
			■実施時期	1月	1月18日	-	年1回の能の主催公演。分かり易く親しみやすい能を実施。						
	□参加者数		100名	117名	A	横浜市外や県外からも参加があった。							
	□顧客満足度		90%以上	100%	A	アンケート回収率54.7%							
	「第12回久良岐狂言会」												
	■実施時期		3月	公演中止	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							
	□参加者数		100名		C								
	□顧客満足度		90%以上		C								
	「久良岐ワールド心地よい時間2」												
■実施時期	12月		12月8日	-	新規顧客獲得のために実施。久良岐の環境を活かし、茶会と一流演奏家による本格的なクラシックコンサートを実施。								
□参加者数	80名		100名	A	これまでの事業ではあまり参加のなかった30～40代の参加があり、初めて参加された方が4割を占めた。								
□顧客満足度	90%以上		94.5%	B	アンケート回収率78%								
1 能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会の提供	「KURAKIコンサートvol.2 ゲスト:森 弘一郎～」												
	■実施時期	4月	4月27日	-	新規顧客獲得・若年層にも参加していただくために実施。多方面で活躍中のアーティストとパフォーマーのコラボレーションコンサートを実施。								
	□参加者数	120名	73名	C	10～70代まで幅広い参加があり、初めて参加された方が5割を占めた。								
	□顧客満足度	90%以上	92.3%	B	アンケート回収率58.9%								
	「サキの國2～出張版～」												
	■実施時期	7月	7月13日	-	能楽×音楽×パフォーマーのコラボレーション公演を実施。昨年久良岐でやったものを、磯子公会堂で再演。								
□参加者数	300名	282名	B	横浜市内のみならず県外からも多数の参加があった。									
□顧客満足度	90%以上	94.5%	B	アンケート回収率45%									

令和元年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→

2 子どもたちへの文化芸術へ触れる機会の提供、能楽等の継承のための取組	4 ワークショップ等による能楽等の市民の関心や興味を広げる普及啓発事業の実施	「能の魅力発信プロジェクト ワークショップ 能 橋弁慶」									み言わざることで昨年度よりハソノアツシに公演を実施し、能楽の新たな広がりを探した。再演ということもあり、参加者は目標人数には届かなかったが、久良岐能舞台の倍以上の集客ができる施設で行ったので、より多くの方に久良岐能舞台を知っていただき、「能楽」の新しい形もみせることができた。	<p>・能楽等に関心を持った子どもたちが継続的に能やその他の古典芸能に親しみ、愛好者として能楽等を継承する機会の提供や支援を積極的に行うことのできる事業を通じ、次世代育成の幅を広げることを期待します。既に実施している能楽講座や日本舞踊の講座において、子どもたちを受け入れることができること等、積極的なPRを実施することについて、引き続き検討を進めてください。</p> <p>・利用者支援として、現在の支援方法に限らず、団体側がどのようなサポートを求めているのかヒアリングを行うことで、新たな利用促進の取組に繋げてください。</p> <p>・団体支援と事業実施を一体で考えること等の新たな取組についても引き続き検討を進めてください。</p> <p>・市民の中には、古典芸能に興味があるものの、敷居の高さを感じる方も多いため、通年の講座参加に向けた体験会の拡充、講座の開講後も体験ができることを周知すること等により、親しみやすい機会提供の工夫を期待します。</p> <p>・市内の他の文化施設との連携や久良岐まつり以外の事業においても地域の資源を生かすことなどにより、新たな利用に繋げることや地域の活性化等を行う等、地域の文化施設としての更なる役割の発揮を期待しています。</p>	
		■実施時期	1月	1月18日	-	1月の能公演で、公演前にシテの能楽師による解説を実施。							
		□参加者数	1/18公演と同様	1/18公演と同様	-								
	□顧客満足度	1/18公演と同様	1/18公演と同様	-									
	5 愛好家未満の立ち位置にある市民へのアプローチ	久良岐まつり 能舞台イベント											
		■実施時期	10月	10月20日	-	地域市民と協働して開催する久良岐まつり庭園行事は悪天候により、中止。19日は能舞台の市民利用の日、20日は能舞台でTAIKOコンサートを実施した。							
		□参加者数	80名	105名	A	予想以上に多くの方が参加された。							
		□顧客満足度	90%以上	100%	A	アンケート回収率66.7%							
		久良岐子どもまつり											
		■実施時期	8月	8月24日	-	久良岐能舞台の認知度向上、及び4歳からの能楽受講生募集のために実施。							
	□参加者数	80名	60名	C	4歳からの能楽受講生だけでなく、近所の子どもたちも参加した。								
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	来場者にヒアリング実施								
6 地域コミュニティを巻き込んだ、インリーチ事業等による、能楽等の伝統芸能の体験講座の実施	「小学校向け狂言鑑賞教室」 ※ 磯子区・港南区・南区の公立小学校6年生対象												
	■実施時期	11月(3日間)	11月5日、6日、7日	-	1日3回(午前2回、午後1回)実施。								
	□参加者数	1,200名以上	1,212名	B	参加校は各区校長会で決定するため、組合せで参加生徒数が変わるが、今年度は毎回100名以上の参加があった。								
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	終了後、各校先生方にヒアリング。大変ご満足いただいた。								
	7 横浜市芸術文化教育プラットフォーム等のアウトリーチ事業により、幅広い子どもたちへの能楽等体験事業の実施	「狂言鑑賞教室」											
		■実施時期	参加希望校と調整	9月12日、11月11日、12月20日	-	久良岐能舞台受託校数:5校							
		■参加者数	参加希望校による(5校程度)	370名(5校合計)	-	狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催。久良岐能舞台のコーディネーター担当は8回目。							
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	終了後、各校先生方にヒアリングを実施。大変ご満足いただいた。								
	8 次世代に伝統芸能を継承するために、能楽を身近に感じられるような講座を実施	「4歳児からの能楽」											
		■実施時期	5月～10月	5月～10月	-	次世代に能楽を繋げていくために講座を実施。							
		□参加者数	20名	36名	A	予想以上に受講生が集まった。							
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生の保護者にヒアリング実施。								

【課題】

・4月、5月に開催の日本舞踊及び謡・仕舞・囃子の体験講座(WS)は参加者数が増加しても、この催事を通じて本講座を受講される方が少ない。今後は本講座受講に繋がるよう、講師とWS参加者との対談時間を増やす、目を引くようなパフォーマンスで興味を持たせるなどの対策を再検討する。

・アンケートの集計結果をみると、まだまだ「初めて久良岐を知った」という方が多くいらっしゃる事が分かった。

【成果】

・小学校向け狂言鑑賞教室は教育支援事業として実施。狂言の鑑賞を通して伝統文化を学んでもらい、次世代育成に寄与した。

・横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業に伝統芸能コーディネーターとして参加し、小学校向け狂言鑑賞教室と同等の内容になるよう調整した。伝統芸能のなかでも狂言鑑賞を希望する学校が多い反面、伝統芸能(狂言)を扱うコーディネーターは少ないため、久良岐能舞台で5校の学校を受け持ち、狂言の普及に努めた。

・「4歳児からの能楽」は伝統芸能の次世代育成のために実施。予想以上の参加申し込みがあり、親世代から注目が大きいことが分かった。その親御さんから好評を得ることができ、継続して講座を実施してほしいというご要望をいただいた。来年度以降も引き続き実施していく。

【課題】

・伝統芸能コーディネーターとしての経験を活かし、小学校向け狂言鑑賞教室の演目や狂言の体験方法について等、学校側のニーズを反映させる。

・4歳児からの能楽は、幼稚園にご協力いただき、チラシを配布して募集をかけたが、そちら経由からの参加はなく、駅や掲示板でのチラシを見ての参加だった。今後、効果的な募集方法について検討していく。

令和元年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→

3 能楽等の稽古、発表 その他の活動支援の取組	9	能楽等の稽古、発表等の活動支援に向けた外部専門家による助言・指導体制等の確保	■それぞれの講座に各流儀の能楽師を指導者に迎えて実施(日本舞踊講座においても同様)	実施	実施	-	流儀ごとの専門家を講師として迎えた。講座、流儀ごとのお稽古・発表会にて適切に助言・指導を実施。	【成果】 ・久良岐能舞台で行われている全ての能楽等(日本舞踊を含む)の稽古、発表等の活動について、専門家による指導・助言体制を確立している。	
	10	利用者情報、活動継続に向けた情報の提供等による活動支援の実施	■利用者情報の提供	実施	実施	-	施設HPの月間スケジュールに「見学可」と掲載するなど、利用者情報の提供、活動継続に向けての支援を適切に実施。	・利用者情報、活動継続に向けた情報の提供や支援として、HPに情報を掲載したり、興味を持たれてる方へ活動団体の紹介を行ったりしたことで、約10人の方を各団体へ御紹介することができた。	
	11	利用者団体の会員募集支援など新たな愛好者の発掘等による利用者団体の活性化の実施	■利用者団体の会員募集支援	実施	実施	-	施設を定期的に利用する団体の意向に沿い、主催事業に会員募集のチラシを配布、HPへの情報掲載等を実施。	【課題】 ・伝統芸能の愛好者減少傾向の中、特に能楽・日本舞踊等の利用者団体の活動支援、活性化に関し、より具体的な成果を得られる方策を検討する。	
4 能楽等の技術研鑽・ 育成支援への取組	12	能楽等の伝統芸能のすそ野を広げる 様々な市民向けの謡曲・仕舞・囃子講座等の実施	「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(初級) ※ 喜多流、金春流、宝生流の3流で開催	■実施時期	6月から通年	6月から通年実施	-		【成果】 ・能楽愛好者は高齢化が著しく減少傾向にあります。これに対応するため、新たな愛好者を育成し若返りを図るための事業として平成23年度から始めた能楽講座に関しては、謡・仕舞講座で7度目の修了者を出し、公共施設においては能界で初めての通年型養成講座として注目を集めた。また、講座を継続することにより、研鑽会(発表会)において、受講生のみで舞囃子を行うという講座の目標も達成することができ、事業の目的である能楽愛好者の育成に努めた。 ・講師の能楽師と共に設定した講座の目標である、受講生による舞囃子の実現を、昨年度に続いて今年度の研鑽会においても、シテ方各流で実施、謡、仕舞、囃子の各講座で達成することができた。 ・初級の講座修了者の多くは引き続き当館において稽古(中級)に励んでおり、能楽愛好者の育成に貢献した。
			□参加者数	各流5名以上	平均1.7名	C			
			□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。		
			「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(中級) ※ 喜多流、金春流、宝生流の3流で開催	■実施時期	4月から通年	4月から通年実施	-		
			□参加者数	各流5名以上	平均8名	A			
			□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。		
			「久良岐能楽教室 囃子」	■実施時期	7月から12月	7月から12月	-		
			□参加者数	10名以上	2名	C			
			□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。		
			「日本舞踊基礎教室」※2年制	■実施時期	6月から通年	6月から通年実施	-		
	□参加者数	10名以上	9名	B					
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。				
	13	能楽等の講座受講者・愛好者等の活動発表の場を提供、積極的な担い手育成の実施	「日本舞踊基礎講座受講生発表会」	■実施時期	3月29日	延期	-	新型コロナウイルス感染拡大防止の為延期。	
□参加者数			40名以上	-	C				
□顧客満足度			90%以上	-	C				
	「久良岐能楽講座受講生研鑽会」	■実施時期	12月	11月30日、12月14日、12月22日	-	能楽講座・囃子講座受講生の発表会を各流で実施。			
	□参加者数	50名以上	63名	A	受講生や講師が知人等を招待したおかげで、予定を上回る盛況だった。 ・宝生流研鑽会 11月30日 参加者数35名 ・金春流、囃子研鑽会 12月14日 参加者数21名 ・喜多流研鑽会 12月22日 参加者数7名 ・4歳からの能楽発表会 10月5日 参加者数20名 受講者・来館者にヒアリングを実施。				
	□顧客満足度	90%以上	100%	A					
	「4歳児からの能楽 発表会」	■実施時期	10月	10月5日	-	4歳からの能楽講座受講生の発表会を実施。			
	□参加者数	20名以上	20名	B					
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生・来館者にヒアリング。				
	■能楽や日本舞踊等の伝統芸能を学ぶ講座受講生や愛好者に活動の成果を発表する場として久良岐まつりプレイベントなどを設定し、伝統芸能の積極的な担い手として育成	実施	実施	-					

令和元年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→

5 能楽等と市民を結びつけるための情報提供及び広報・プロモーション活動の実施	14	WEB ページ等による施設案内、講座情報等の積極的な情報発信の実施	<p>■情報提供サイト上に、施設案内情報、施設利用情報、自主事業情報等を掲載</p> <p>■ホームページ上の掲載情報は常に最新の情報に更新</p>	実施	実施	-	HPにて施設の紹介、各種情報提供を実施。	<p>【成果】</p> <p>・WEBサイトは常に最新情報に更新すると共に、職員によるスタッフブログ等での馴染みやすい記事とすることに努めた。HP閲覧数は昨年度より少なかったが、ブログは前年度より閲覧数が増加した。また、TwitterとFacebookのアカウントを作成し、より多くの方に情報を発信できるよう努めた。</p> <p>・自主事業等の情報提供はWEBサイトの他、訴求力があるチラシの制作を心がけ、市内外の公共施設、文化施設、鉄道駅等着目されやすい場所にチラシ配架を行う他、近隣地域では公共及び自治会掲示板等にも掲示して市民の身近な場所での情報提供に努めた。その結果、公演におけるお客様アンケートでは、初めての来館者が47.6%であり、昨年度の42.5%から5.1%増加した。</p> <p>【課題】</p> <p>HPについては、より見やすく、久良岐能舞台の魅力をさらに伝えられるよう、リニューアルを検討する。</p>
	15	紙資料、ICT 等を活用し、より身近に感じられるような広報・プロモーションの実施	<p>■チラシやホームページ上への掲載、新聞等のマスメディアを通じた広報等、様々な方法、メディア等を通じて市民の目に触れる機会の拡充</p> <p>■ICTの進展に添ってより多くの通信系メディアによる情報アプローチにも応えられるように検討</p>	実施	実施	-	<p>・自主事業情報等を各種媒体に掲載 フリーペーパー6件、広報よこはま5件、ヨコハマ・アートナビ3件</p> <p>・自主事業等のチラシ配架 合計245か所 DM配信 年8回実施 配信数7,591通</p> <p>・他施設の情報提供 伝統芸能関係110件ほか363件</p>	
	16	魅力的で訴求力があり、丁寧で分かりやすい情報提供の実施	■丁寧で分かりやすい内容を併せた、訴求効果のある情報提供を推進	実施	実施	-	<p>・魅力が感じられるHPの運用。 (映画製作会社、放送用CM制作会社、映像コンテンツ制作会社等から数件の引き合いあり。)</p>	
	17	人権侵害や個人情報漏えい等への適切な配慮	■個人情報の漏洩や利用者、市民の人権を侵害することが無いように適切な運営管理を実施	実施	実施	-	<p>PCは一定時間を経過するとスクリーンセーバーに切り替わり、再度ロックがかかるようにし、やむなく事務所を不在にする際は必ず施錠するようにした。また、外国人の方向けに英語で案内ができるよう、パンフレットやHPを整備した。</p>	
6 能楽等に関する地域との連携、事業の実施	18	施設と地域の相乗効果を発揮し、能楽施設に親しみ、伝統芸能の楽しさを味わうための事業の実施	<p>「第13回久良岐まつり」</p> <p>■実施時期</p> <p>□参加者数</p> <p>□顧客満足度</p>	10月19日・20日	10月19日・20日	-	<p>毎年、地域市民と協働して開催。</p> <p>悪天候のため庭園行事中止。 能舞台催事:19日市民開放 20日Kenny遠藤TAIKOコンサート</p> <p>能舞台催事のアンケート結果。回収率は66.7%</p>	<p>【成果】</p> <p>・「第13回久良岐まつり」は悪天候が予想されたため、庭園行事は中止となったが、地元市民との連携・協働により館内でのコンサートを開催した。</p> <p>・庭園の清掃や自主事業について等、久良岐能舞台の運営をサポートしていただいたサポートスタッフについては、参加者が年々少なくなってきていたため、一度解散し、改めてメンバーを募集した。</p> <p>【課題】</p> <p>・久良岐まつりは今年度で13回目となったが、毎年内容が同じでマンネリ化してきているように感じる。町内会等とも相談し、何か目玉となるようなイベントを行い、さらに来場者を増やす方法を検討していく。</p>
	19	市民協働の視点による企画、運営、清掃等のサポートスタッフの活用・発展等の実施	■市民協働の運営	実施	実施	-	<p>サポートスタッフによる運営への協働実施 事業運営:自主事業実施時3名、庭園清掃:14名</p>	
	20	本社のノウハウの横展開、他の古典芸能施設、市の他施設・事業等との連携拡大に向けた取組	■他の古典芸能施設や横浜市の事業等との連携に取組み、または検討	実施	実施	-	<p>磯子公会堂での公演を実施。</p>	

令和元年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→

評価項目		令和元年度計画		実施状況			評価	
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
1 能楽等の稽古、発表その他の活動への施設の提供に関する取組	1 公共施設としての公平・公正かつ能舞台としての利用ルールの徹底等による適切な貸出業務の実施	■施設利用や提供について公平・公正に運用	実施	実施	-	横浜市の公共施設として公平・公正に運用。	【成果】 ・自主事業の広報のみならず、外部からの問い合わせにも積極的に協力したり、竹灯笼の点灯日を告知する等、様々な機会を利用して施設の周知に努め、利用率の向上を図った。 ・諸室の利用について営業を実施したり、利用者による口コミで、16団体の新規利用を獲得した。 【課題】 ・能舞台、和室の利用率は各利用団体の高齢化に伴う人数縮小・活動頻度の減少により低下している。 ・施設の知名度向上を図るため、伝統芸能以外にもコンサートや講談等、様々な事業を検討する必要がある。また、竹灯笼の再制作等、併せて能舞台周辺の環境整備も必要。 ・平日午後・夜間区分と比べ、平日午前中の利用が極めて少なくなっている。現状を改善するために、近隣の主婦や高齢者をターゲットとし、利用率向上の方策を引き続き検討していくほか、簡易能装束を制作し、貸し出すことで外国人観光客等もターゲットにして営業していく。 【更なる取組を期待する点】 ・古典芸能の新たな愛好者を増やすため、広報や営業活動の強化を行うとともに、施設自体の魅力の発信などをさらに進め、新たな利用者や来館者の掘り起こしを行うことを期待します。 ・未利用の時間枠の活用を行い、施設の利用促進や指定管理料以外の収入確保だけでなく、施設の設置目的である古典芸能の愛好者の育成等にも繋げる取組を、引き続き行うことを期待します。	【評価できる点】 ・公共施設として、適切に市民へ施設を提供していることを確認しました。 ・利用促進について、施設近隣区で活動している団体へ営業活動等を実施するなどにより、新規団体の取り込みに繋げていることを評価します。 ・アンケート等から利用者のニーズを把握し、職員で共有を行い運営の改善に取り組んでいることを確認しました。 ・未利用の時間枠の利用促進に向けて、新たな利用者となりえるターゲットを定め、営業活動を実施したことを確認しました。 ・様々な研修に参加し、職員育成に努め、施設運営に生かしていることを確認しました。 ・個人情報や人権の保護に向けて研修等を実施し、適切に業務が行われていることを確認しました。
		■能楽等の専門施設として適切な貸出業務を遂行	実施	実施	-	能舞台として求められる利用上のルールを広く利用者に徹底させた。		
	2 開館時間・休館日、利用料金・割引料金・減免等の適切な設定	□開館日数	347日	341日	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館があった。		
		■開館時間	9時～22時 ※夜間区分の利用が無い場合は、事前に周知の上、17時で閉館	9時～22時 ※夜間区分の利用が無い場合は、事前に周知の上、17時で閉館	-	適切な開館時間の実施。		
		■利用料金を適切に設定	実施	実施	-	横浜市能楽堂条例のとおり実施。		
		■年間休館日をホームページで公開	実施	実施	-	毎月のスケジュールをHPに掲載。		
		■庭園内門扉の適切な管理	実施	実施	-	開館時間に合わせた開閉の実施。天候等による危険時等、南部公園緑地事務所へ連絡し管理を行った。		
	3 支払方法等の利用者サービスの向上による利用促進の実施	■来館による利用申請手続きだけでなく、郵送による申請及び振り込みによる支払いを可能にし、利用者サービスを向上	実施	実施	-	郵送による利用申請及び利用料金の現金書留による支払を可能にした。振込による支払いも可能にし、申請しやすいようにサービスの向上に努めた。		
	4 利用率の適切な目標指標設定(コマ単位)	□能舞台	53%	44.4%	C	初年度より利用者の増加が確認でき、定額料でご利用いただいている。これにより利用率が上がった。		
		□和室	41%	39.4%	B			
		□茶室	12%	17.2%	A			
	5 諸室の機能ごとに戦略的営業を展開し、新規利用者の増加に向けた取組	■環境の整備と、より幅広い演出を可能とする取り組みを実施し、利用者増加を図る。また、市内の施設等でやっている愛好者団体等に戦略的に働きかけ、新規利用者の増加となる取組を推進	実施	実施	-	能舞台、和室、茶室等の機能に適していると思われる施設近隣区で活動している愛好者団体・グループに働きかけをし、今後の利用に向けた施設見学のご来館を促した。		
	6 知名度向上に向けた取組	■久良岐能舞台を知っていただくきっかけとなるような取組を実施	実施	実施	-	これまで来館したことのない新しい客層に向けた事業を実施し、新規顧客獲得に努めた。		
2 利用促進・利用者サービスの向上への取組及びアイデア・ノウハウの活用等	7 運営会議等によるPDCAサイクルの確立	■毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施	実施	実施	-	自主事業公演等の際の車椅子への対応、靴の取り違い対策等を実施。		
		■次年度事業計画への反映	実施	実施	-	改善点を次年度に反映。		
	8 利用者アンケート、利用者との会議等による利用者ニーズの適切な把握、PDCAサイクルの実施	■アンケート回収後、翌日集計、職員等の関係者への回覧実施	実施	実施	-	自主事業参加者及び貸館利用者を対象としたアンケートを実施。		
		■事業終了後2週間以内の事業報告書作成と関係職員への回覧	実施	実施	-	事業毎のお客さまアンケートを回収後、集計し職員に共有。改善点を次年度に反映。		
		■直ちに実施できる改善点はすぐに実施	実施	実施	-	頂いたご意見は職員に共有し、実施できる改善点はすぐに実施。		
	9 苦情・要望等への適切な対応、改善に向けた取組の実施	■利用者・見学者等からの要望や苦情は、直ちに主任、館長に報告し、軽微なものについては即時対応するとともに文化振興課に電話、メール等で報告	実施	実施	-	椅子の配置が良くなく、舞台が見えにくいというご意見を受け、高さのある椅子を制作し、客席後ろに配置する対策を行いました。		
		■苦情・要望は、月次の運営会議に報告、討議し、職員全員で共有	実施	実施	-	頂いたご要望は月次の運営会議で職員全員で共有し、対策を検討。		
		■苦情・要望を月次のモニタリング資料に掲載	実施	実施	-	頂いたご要望・ご意見は毎月モニタリング時に共有。		
	10 利用促進に向けた、未利用枠と潜在的利用者のマッチング営業等の実施	■利用が少ない未利用枠の利用促進に向けて、潜在的顧客の掘り起こしとなる提案営業やお試し会などの戦略的な営業を推進	実施	実施	-	横浜市の公共施設・自治会・町内会・連合自治会・その他施設・団体等に適宜訪問、施設案内・販促を実施		
	11 施設見学希望者への積極的な対応、利用者への配慮の実施	■施設見学の市民への対応は、施設利用者の迷惑にならない範囲で全職員が積極的に対応	実施	実施	-	能舞台見学の団体が増加したこともあり、全職員で積極的に丁寧に対応。		
		□来館者数	20,000人以上	約14,946名	C	新規顧客が増加してきているが、目標には届かず。		
	12 施設内覧会等の実施による新規利用者の獲得に向けた取組	■久良岐能舞台の更なる市民の認知を促し、新たな利用者の獲得のために施設の案内・内覧会の実施を検討	実施	実施	-	事業参加者にも興味がありそうな方には積極的に施設のご案内を実施。利用問合せがあった際には、施設見学についても積極的に勧めている。		
	13 未利用枠の有効活用に向けた積極的な営業活動の実施	■貸館のうち午前などの未利用枠が多い時間帯について、潜在的な顧客に対して、それぞれに適切な提案をするなどの戦略的な営業活動を実施	実施	実施	-	4歳からの能楽講座を午前の枠で実施。また、撮影等で利用する団体や詩吟の団体等に声をかけてみたが、成果に結びつかず。未利用枠を埋めていく方策を今後も検討する。		

令和元年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→

3 運営組織の構造、組織的な施設運営	14	現場運営に最適な現場管理の実施	<p>■能楽等の専門施設として必要な知見と実行のみならず、庭園に関する知識を持って注意深く管理にあたり、職員全員が対応する</p> <p>■不足しがちな労働力をボランティアスタッフの協力を得て遂行</p>	実施	実施	-	職員に能楽鑑賞研修を実施。庭園の維持管理についても南部公園緑地事務所と連携しながら適切に実施。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 能楽等の伝統芸能の専門施設として相応しい職員育成のため、近隣能楽堂へ赴き、能楽公演での研修を推進し、能楽に関する知識や意識の向上を図った。 市民と共に久良岐能舞台を運営するという視点から、自主事業運営、庭園清掃の2分野に分けてボランティアスタッフとの協働運営を推進した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年々、ボランティアスタッフの参加が少なくなっているため、メンバーを見直し、再度ボランティアスタッフの募集をかけたが、想定よりメンバーが少なくなってしまった。今後も広く募集をかけていく。
	15	適切な人材の配置・職能	<p>■館長(統括管理責任者、事業企画):1名</p> <p>職員・主任(現場運営管理責任者):1名</p> <p>職員(施設運営等):5名</p> <p>企画管理担当職員 1名</p>	配置	達成	-	適切な人員配置で運営。	
	16	積極的かつ適切な職員育成の実施	<p>■運営会議等を通じた能楽等の専門施設に相応しい認識の理解の促進や他施設での能楽鑑賞等を実施</p>	実施	実施	-	現場の全職員に研修を実施。	
	17	アドバイザーの配置・活用	<p>■能楽、日本舞踊・邦楽、古典芸能全般それぞれの分野について、専門家をアドバイザーとして委嘱し、専門施設としての一定の水準を確保するよう活用</p>	実施	実施	-	能楽講座や日本舞踊講座等の各講師にご意見を伺い、運営に反映。	
	18	市民ボランティアの配置・活用	<p>■公募による市民のボランティアスタッフ(サポートスタッフ)の事業補助、庭園清掃等の各分野において活用を推進</p> <p>■市民協働の安定的な推進のため、ボランティア保険を付保し、市民と施設の利益となるように実施</p>	実施	実施	-	令和元年3月末現在のボランティアスタッフ登録:10名	
4 本市の重要施策を踏まえた取組	19	個人情報保護についての取組	<p>■コンプライアンスの遵守と個人情報保護の徹底</p> <p>□社内個人情報研修に基づき、確実な個人情報保護を実践</p>	実施	実施	-	社内規定及び横浜市の方針に基づく個人情報保護及びコンプライアンスの遵守に関する研修を実施。	
	20	情報公開についての取組	<p>■「各年度の業務計画書」「各年度の業務報告書」「各年度の休館日一覧表」のホームページでの公開、請求があった場合は事務所窓口において開示</p> <p>■施設の利用状況等、施設の貸出に関する情報は原則としてホームページに当該月の6か月先まで公開</p>	実施	文書の開示請求なし	-	管理運営に関する文書、施設の利用状況、貸出に関する情報等を、ホームページに掲載。	
			<p>■その他の開示請求については、事務所窓口で対応し、必要に応じて文化振興課と協議の上で対応</p>	実施	文書の開示請求なし	-	開示請求なし。	
			<p>□人権尊重の考え方を施設内で共有する人権研修の実施</p> <p>■法令等を遵守して適正な管理業務を遂行</p> <p>■公正、公平な管理</p> <p>■利用者の意思及び人権を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供</p>	年1回	1回	B	12月24日実施。	
	21	人権尊重についての取組	<p>■施設内外の美観を維持するため、毎日、庭園内及び門前周囲の清掃を実施</p> <p>■環境上の問題になるような状況等を発見した場合、所管の南部公園緑地事務所と協議し、対応を依頼</p>	実施	実施	-	適切に実施。	
	22	環境への配慮に関する取組	<p>■委託、購入、どちらの場合も横浜市内の中小企業に優先的に発注</p>	実施	実施	-	施設の維持点検、保守・修繕にかかる業務を市内の中小企業に委託。	
	23	市内中小企業優先発注についての取組	<p>■横浜市文化芸術創造都市の実現に関わる観光MICE振興のため、恵まれた自然環境と一体的に魅力を形成している施設の特長と共に、来日外国人にも能楽等の伝統芸能の鑑賞の機会の提供を通じて、目的の実現に寄与</p>	実施	実施	-	能楽公演や装束展示ではパネルやパンフレットに英語表記を追記。	
	24	その他観光MICE振興につながる取組	<p>■横浜市中期4か年計画における課題である「子どもたちや新進アーティストの育成など、次世代育成の取組を充実」していく必要に対応して、地域の子どもたちを中心とする、能楽等の伝統芸能に関わる次世代の育成を取組む事業を推進するため、今まで以上に地域との連携を深め、市民の参加を推進</p>	実施	実施	-	<ul style="list-style-type: none"> 「小学校向け狂言鑑賞教室」 「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」の狂言鑑賞教室(アウトリーチ)の実施 「4歳からの能楽」講座を実施。 	
25	能楽等の伝統芸能に関する次世代の育成につながる取組の実施	<p>■横浜市中期4か年計画における課題である「子どもたちや新進アーティストの育成など、次世代育成の取組を充実」していく必要に対応して、地域の子どもたちを中心とする、能楽等の伝統芸能に関わる次世代の育成を取組む事業を推進するため、今まで以上に地域との連携を深め、市民の参加を推進</p>	実施	実施	-	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能による子どもたちの育成については、社会貢献事業として毎年開催している小学校向け狂言鑑賞教室の実施と横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業への参加により、子供たちの育成に貢献した。 「4歳からの能楽」を実施し、小学生までを対象とした講座を実施。小さい頃から能楽に親しむことで、「能楽は敷居が高い」という概念にとらわれず、大人になった際にも能楽に興味を持ってもらえることを期待する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化社会の中、伝統芸能の継承に最も大切な次世代の育成のため、来年度以降も「4歳からの能楽」は継続して実施する。 		

令和元年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→

評価項目		令和元年度計画		実施状況			評価	
Ⅲ施設管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
1 施設・設備の維持保全及び管理	1 施設・設備・備品等の維持管理・保全業務の実施	■業務の基準に従い、適切かつ確実に業務を実施	実施	実施	-	施設巡回保守点検 4回、待合室・全館トイレ洗浄、障子張り替え、全館天窓蛍光灯点検、能装束の自然劣化による縦び修繕とシミ抜き実施。	【成果】 ・庭園等の美観維持のための清掃管理は、職員による適切な維持管理活動のほか、久良岐能舞台サポートスタッフ(市民ボランティア)や磯子土木事務所所管のグリーンサポーター(ボランティア)も参加して実施し、活発な環境維持推進が行われた。また、公園を所管する南部公園緑地事務所に働きかけを行い、巨大化した樹木の伐採や剪定が実施され、適切な庭園管理を行った。 【課題】 ・散策される方も多くいらっしゃるため、施設内の設備だけでなく、庭園についても危険な箇所はないか、定期的に巡回を行っていく。	【評価できる点】 ・日頃から市と連携し、施設及び広大な庭園の管理に係る情報共有を行い、適切に管理が行われていることを確認しました。 ・施設管理のうち大きな比重を占める庭園の維持管理については、市民のボランティアを積極的に活用し、市民に愛着を持って施設に関わってもらうきっかけとするともに、市民協働による施設運営をおこなっていることを高く評価します。 ・利用者が、施設を快適に使用できるよう、指定管理者が対応できる範囲できめ細やかに施設管理が行われていることを確認しました。
	2 庭園等の周辺環境の維持管理・保全業務の実施	■安全で安心して利用できる久良岐能舞台の庭園環境を実現するため、所管の南部公園緑地事務所と緊密な連携を行い、快適な環境が保全されるよう対応	実施	実施	-	樹木の伐採、剪定を南部公園緑地事務所に要請し、実施。竹林整備、落葉堆積物除去、上・下池浚渫、老朽化・危険樹木等伐採、剪定、庭園刈込み、庭園清見回り:日中 適宜実施、夜間1時間毎実施。		
	3 警備・安全管理業務の実施	■見回りの実施等、敷地全体の犯罪や火災等への警戒と事故等の未然防止活動と安全管理を実施	実施	実施	-	毎日清掃時及び利用後に点検を行い、異常の有無を確認。		
	4 専門的な見地に基づく能舞台、能装束等所蔵品の管理実施	■能舞台の日常点検を実施 □専門家に意見を仰ぎながら能装束の虫干し実施、定期的な防虫剤交換	実施 年1回	実施 1回	- B	能装束を保管している鏡の間の除湿機を常時稼動。和革管内の水取り剤、防虫剤を適宜交換。		
2 小破修繕への取組	5 日常点検等による、きめ細やかな施設管理に基づく予防保全の実施	■毎日の清掃時に各部分の目視による点検を行い、変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、その状況に応じて対応	毎日	実施	-	日常点検に基づく予防保全を適切に実施。	【成果】 施設の維持のため、障子の張替えや竹林整備、雨戸波板外れ修理、池の堆積物除去等、長寿命化のための維持管理を実施。職員自らの手で行うことで、費用の縮減だけでなく、不具合や破損についてすぐに発見することができている。 【課題】 ・施設の老朽化が進んでおり、指定管理者で対応できることや日常点検は適切に実施しているが、引き続き市と連携し、順次設備更新等を行っていく。	緊急時や防災時に速やかな対応ができるよう、防災訓練等を実施していることを確認しました。 【更なる取組を期待する点】 ・施設の老朽化に伴い、修繕等が増加していくことが考えられるため、引き続き日常点検を実施し、利用者が安全・安心して利用できるように市と連携して適切に対応を行ってください。 ・施設の特性や立地において災害等の影響を受けやすいため、引き続き適切な施設管理を継続するとともに、必要に応じて備蓄を行ってください。
	6 施設長寿命化の観点に基づく施設管理の実施	■施設を長寿命化する観点から、少しの不具合も見落とすことなく、直ちに適切に対応	実施	実施	-	清掃時や巡回時に建物・備品についてもチェックをし、軽微な不具合であれば自分たちで速やかに修繕を実施。時間がかかる場合は、利用者に声をかけ、触れないように呼びかけたりした。		
	7 迅速かつ臨機応変な施設管理・修繕対応の実施	■施設のいずれの部分においても不具合や破損等が発見された場合は、その状態に応じ適切に対応 ■小破修繕の対象となる場合は、できるだけ早く施設利用の妨げにならないよう対応	実施	実施	-	障子破れや柱の木材欠け等、不具合や破損が発見された場合、利用者の妨げにならないよう迅速かつ適切に対応。		
	8 小破修繕の適切な実施	■職員が修繕対応する場合、施設利用者の妨げとならない時、施設利用が無い時、或いは休館日に実施 ■専門業者に委託する場合、市内の複数の業者から見積りを徴収し、最低価格の業者に委託 ■現に設置されている設備の場合は同一製造者の市内代理店等を基本とし、参考の為その他の業者からも見積りを徴収	実施	実施	-	市内の業者から見積りを徴収し、最低価格の業者に委託。		
3 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理	9 庭園内の安全管理、火災予防の実施、危機管理対策	■大きく成長した樹木の多い庭園を持ち、純木造の建物の施設であるため、安全管理や火災予防など、全体的な観点から危機管理対策を推進	実施	実施	-	・庭園内にある老化した樹木や警戒を要する枝、降雨時の滑りやすい階段や斜面で事故が発生しないよう、予防措置を実施。 ・災害の予測に基づき対応・対策・訓練を実施。	【成果】 ・磯子消防署指導による防災訓練を実施し、緊急時の対応について今一度見直しを行った。 ・庭園における事故を未然に防止するため、巨大化樹木の伐採等、南部公園緑地事務所と緊密に連携して対処した。これにより、事故の防止だけでなく、景観の維持にもつながっている。 【課題】 ・強風雨等、激甚災害化する天候で被害を受けやすい谷戸地形にあるため、効率的な対応処置方策について今後も検討を行う。 ・今年度は台風が多く、倒れそうな木や落下してきそうな枝等が多く見られた。見つけた場合は南部公園緑地事務所にすぐに連絡するが、早急に対応できない場合もあるため、その際は一部通行止めにしたたり、立て看板を設置する等の対策を行う必要がある。	
	10 危機管理マニュアルの整備と非常時対策訓練の実施	■久良岐能舞台及び敷地等における災害の予測に基づく対応マニュアルの整備と、対策・訓練を実施 ■施設内及び庭園内における事故等の発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見や危機発生の可能性に注意し、日常的に点検し、対処 □事故等発生時の対応について、防災訓練を全職員で実施	実施 実施 年2回	実施 実施 年3回	- A	横浜市災害対策に基づき、危機管理マニュアルを整備。また、磯子消防署指導による防災訓練を実施。施設内及び庭園内における事故発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見、危機発生の可能性を日常的に点検、対処。 ・7/8磯子消防署指導の下消火・AED取扱い前講習会体験実施 ・8/27、10/23(株)ニチナンメンテ指導による火災受信機操作の実施 ・10/23シェイクアウト訓練を実施。		
	11 緊急時(事故・犯罪の発生時)の対応方針、対策	■緊急事態が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに、文化振興課を含む関係者に対して緊急事態発生を旨を通報すると共に、市と協力して原 ■日常的に衛生管理を行うため、玄関の分りやすく目に付くところに消毒薬を配置	実施	実施	-	防災訓練において対応措置の実施訓練を行った。		
	12 感染症対策等の衛生管理の実施	■新型コロナウイルス、感染性胃腸炎(ノロウイルス等)等の感染や拡大を防ぐ目的で、保健所の指導を受けて対応マニュアルを整備 ■汚物(嘔吐物や糞便)については、適正な方法で処理し、消毒を実施 ■衰弱した鳥や動物、死亡した鳥や動物を発見したときは、磯子区福祉保健センターに対応方法を相談	実施 実施 実施	実施 実施 実施	- -	玄関入ってすぐの待合室に消毒薬を配置。 感染症対策のマニュアルを整備。 感染症対策等の衛生管理は適切に実施。		
4 防災に対する取組	13 緊急時の連絡体制・役割分担(職員体制)	■久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に提出すると共に、全職員に周知徹底	実施	実施	-	防災訓練において対応措置の実施訓練を行った。	【成果】 ・防災対応として、磯子消防署の指導の下、消防・防災訓練を実施。有事の際にもすぐに動けるよう、全職員を対象に継続して取り組んでいく。 ・消防署指導の防災訓練のほか、設備点検を委託している会社指導の下、消火・通報・避難・火災受信器取扱の訓練を全職員で実施し、災害に備えた。今後も継続して取り組んでいく。 【課題】 ・施設の収納スペースに限界があることから、災害発生時の十分な備蓄はできておらず、今後に向けた検討が必要。 【成果】 ・光熱水費削減努力を行ったこと、また2月中旬から新型コロナウイルス感染拡大防止の対応で貸館利用を中止したこともあり、光熱水費の前年度比は94.4%となった。	
	14 自衛消防組織の結成、平常時の防火・防災対策	■甲種防火管理者を選任すると共に久良岐能舞台防災計画書を作成し、所轄の磯子消防署に提出 ■自営消防組織を結成し、日常の防火、防災に努める □横浜市防災計画に基づき、定期的に消防、防災訓練を実施	実施 実施 年2回	実施 実施 年3回	- A	久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に報告すると共に、全職員に周知。 甲種防火管理者を選任し、磯子消防署に防災計画を提出。 全員が消火・避難・連絡に当てるように訓練を実施。		
	15 災害発生時の取組、施設状況の把握	■直ちに消防署等に通報すると共に、緊急連絡網に記載された通り関係者に対して緊急事態発生を通報し、必要な措置を講じつつ状況の把握に努める	実施	実施	-	災害発生時の連絡、状況把握等について、必要な対応がとれるよう、年2回(6/24、10/13)訓練を実施。		
	16 災害時等の市への協力	■災害等が発生した場合、市に協力してその原因調査を行う ■大規模な災害等が発生し、行政機関において災害対策本部等が設置された場合は、その指示に従うと共に、行政機関の災害対応に協力	実施	実施	-	災害発生時の連絡、状況把握等について、必要な対応がとれるよう訓練を実施。 防災訓練において、防災伝言ダイヤルに連絡訓練を実施。		
5 その他施設管理に関する事項	17 光熱水費削減努力	■施設稼働率の上昇に伴い光熱水費が増加傾向にあるため、施設利用の無い時間は原則として消灯、空調機停止など、電力削減に努める □光熱水費	実施 年間150万円	実施 1,452,311円	- B	施設の利用がない時は消灯するなど、適切な空調管理を行い経費削減に尽力した。		

令和元年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→

評価項目		令和元年度計画		実施状況		評価		
IV収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 適切な収支構造及び収支バランス	1 収支構造の検証	■厳しい収入と欠かせない費用のバランスについて、常にチェックを行い、不適切な収支とならないように推進	実施	実施	-	・伝統芸能愛好者の育成に要する費用は、新型コロナウイルス感染拡大により、2月は参加者が減少し、3月についても休館のため講座は中止となった。 当期講座収支実績 -1,038,050円(前年度:-795,600円)	【成果】 ・イベント内容の工夫・環境の整備をして久良岐能舞台の知名度を少しずつ向上させてきた。 ・極力経費を抑制して事業を実施し、収支のバランスに近づけるよう努めた。	【評価できる点】 ・収支状況を適切に管理しつつ、事業や広報等のため、必要性に応じて経費執行が行われていることを評価します。 ・施設の有効利用のため、能楽の古典芸能の利用を優先しつつ、撮影会等、利用されていない時間帯の活用を積極的に行っていることが確認できました。 ・指定管理料を有効活用するために経費削減等に努めている姿勢を高く評価します。
	2 予算・決算、収入・支出のバランス	■予算は守るべきガイドラインとして毎月の月次決算において確認し、四半期ごとに収支が適切にバランスするように運営 ■決算は月次、四半期、通期と行い、年度末においては目標とする収益が確保できるように実施	実施	実施	-	予算の実施に当たってはできる限り費用抑制に努め、全体として収支の均衡に努めた。 予算/決算、及び収入/支出はいずれも自主事業収支によるバランスが崩れた結果、赤字に傾いた。	・指定管理料のみに依存しない収支構造構築のため、柱となる施設利用料の増収を図り、施設周知の向上を図った。 ・講座受講生が増加したこともあり、前年度に比べると講座収支については改善してきている。	【更なる取組を期待する点】 ・収入を拡大することや費用の抑制に努めていることは確認できているものの、収支バランスが確保できていないことは、持続可能な施設運営を行うにあたり、改善が必要です。事業収入を高めるため、参加者の増加に向けた効果的な広報を行うことや、助成金や地域の地元企業からの協賛など、多様な財源を確保するための検討を進めることを期待します。
	3 自主事業収支の適切なバランス	■事業費見積の参加者数を確保するために必要な条件を検討し、それぞれの自主事業の収支の適切なバランス確保に努める	実施	実施	-	知名度の低さと交通が不便であることから、集客が難しい為、安価な値段の公演をいくつか実施し、集客に繋がったが、1人あたりの単価が安く、久良岐能舞台は入れる人数も少ないこともあり、前年度と比べ、大幅な赤字となった。 自主事業全体収支実績-3,125,375円 (前年度:-2,034,183円)	・自主事業については今後、能楽愛好者減少により受講生が減少することが見込まれ、催事については人気の高い狂言や能の公演でも消防法の関係で、限られた人数しかご来場いただけないこともあり、収入の増加を図るのは困難な状況。席数を増やしたり、庭園での事業実施等、様々な方法を模索している。 ・支出を抑えるための取り組みとして、チラシやチケット、プログラム等は職員自らの手で作成したり、音響や照明のオペレーターは社内のスタッフに依頼する等、経費削減に努める必要がある。 ・講座受講生が増えているが欠席する生徒が多くいるため、受講生の増加が、そのまま収入の増加に結びついていない。講座受講料の改定やスタンプカード制度の見直し等、対策を検討していく。	・事業や施設の利用率金収入の増加について、それぞれ単独で対応するだけでなく、複合的な視点で検討を進めることが必要と考えます。 ・事業等について、費用対効果の検証や経費執行に係るPDCAを回し、引き続き、効率的かつ安定的な施設運営を行ってください
2 指定管理料のみに依存しない収入構造	4 指定管理料以外での収入確保に向けた構造づくり	■施設稼働率が高いものの、諸室別の利用率は低い部分があるため、改善を検討 ■自主事業については、主に講座の参加料収入が伸び悩んでいるため、改善を検討	実施	実施	-	施設の周知を図る広報の成果が得られた。 新規利用団体・・・16団体増 対象を絞った効率的な広報活動と広く周知させる広報を使い分けて実施したところ、初めて来館されるお客様が増加した。	【成果】 ・発表会等の会場を探している利用団体に声をかけたり、貸館利用についてまとめたチラシを配架する等、貸館利用者増加のための営業の結果、新規利用者が増加した。	
	5 戦略的かつ積極的な貸館収益の増加に向けた取組	■諸室時間枠別にみた未利用枠の稼働を目標に、付加価値のある貸館営業を潜在的顧客に向けて多様な戦略的営業として展開し、貸館収益の向上を図る	実施	実施	-	伝統芸能にとらわれず、能楽や茶室など和の施設特性に適する新規の利用者にも営業的に働きかけ、貸館収益の向上を図った。 婚礼写真撮影やWebビデオの撮影等、多様な新規利用者を獲得。	【課題】 ・自主事業アンケートから得られる情報は、より自由で幅広い種類の事業が望まれている。頂いたご要望は、久良岐能舞台の施設特性とのすり合わせを行い、事業に反映させることのできる企画の推進を進めていく。	
	6 マーケティングを活用した事業推進による自主事業収入増加に向けた取組	■自主事業アンケート及び利用者に関するデータベースの分析で得られる情報により、選択的に事業収入の増加に寄与する取組を推進	実施	実施	-	自主事業アンケートでは、より自由で幅広い種類の事業が望まれている。そのため、久良岐能舞台の施設特性とすり合わせた企画を推進した。		
	7 企業協賛、助成金等の活用によるファンドレイジングの実施	■自主事業に対する地域の企業等の協賛を開発し、事業収益の改善を図る ■芸術文化振興基金、地域創造等の助成金を獲得するように企画し、事業が推進しやすい資金環境を整備	実施	実施	実施	協賛は得られず。 助成金は得られず。		
3 経費削減等効率的運営の努力	8 「選択と集中」による運営経費の抑制と利用者ニーズへの対応	■施設運営に関するデータから見る傾向及び利用者に関するニーズの傾向から、特徴的なニーズの推進及び、施設の使命としてなすべき事業を中心に運営経費の選択と集中を図る	実施	実施	-	次世代の伝統芸能愛好者の育成が必要と考え、自主事業全体の約4割もの費用を集中し、中心的自主事業として能楽等の講座を実施。	【成果】 ・久良岐能舞台としてなすべき事業、望まれている事業を中心に実施。	
	9 自己点検・評価による効率的運営の実施	■利用者アンケート、事業参加者アンケート、事業ごとの事業実施報告書等による自己評価と点検により改善点を抽出し、改善を推進 ■日常的施設運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティング等を通じて検討し、直ちに改善を遂行	実施	実施	実施	利用者アンケート、事業参加者アンケート等をもとに職員全員で自己評価と点検を実施し、課題については改善するよう努めた。また、自己点検・評価による効率的運営を適切に実施。 日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を遂行。	・利用者アンケート等をもとに職員全員で自己評価と点検を実施し、課題については改善するよう努めた。 ・日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を遂行した。 【課題】 ・伝統芸能以外の分野についても視野に入れ、事業内容について検討していく。	

令和元年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→

評価項目		令和元年度計画	実施状況	評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標	特記事項	自己評価	行政評価
1				<p>●文化事業の総括 伝統芸能の愛好者育成のために行っている「久良岐能楽講座」「日本舞踊基礎教室」は年々、受講者を獲得するのも四苦八苦しており、これまで通りの募集方法に限界を感じている。新規講座受講生獲得のために、これまであまりアプローチしていなかった地域にもチラシを配布したり、募集時期を早めてみたが、より多くの受講生の獲得には繋がらなかった。もっと情報発信に力を入れ、裾野を広げて広報活動を行う必要があると考えている。「4歳からの能楽」は予想以上に好評いただき、来年度も是非やってほしいというお声をいただいた。インリーチやアウトリーチをはじめとし、今後も次世代の伝統芸能愛好者育成のための取組を続けていきたい。</p> <p>●施設運営の総括 SNSやブログも活用して情報発信を行ったところ、多くの方に久良岐能舞台を知っていただくことができ、初めて来館される方も増加した。これをきっかけにご来館された方も1度きりではなく、今後もリピーターとなっただけのよう、バラエティーに富んだ事業の実施や施設環境の整備を行っていく。ボランティアスタッフについても積極的に参加していただけるよう、DMで呼びかけを行ったり、新規メンバーの募集も行っていく。</p> <p>●施設管理の総括 今年度は台風が多く、倒木の危険性があったが、庭園を巡回し、危険箇所があった場合は南部公園緑地事務所と連携して伐採等の対応を行い、適切な環境を維持することができた。また、防災訓練を定期的の実施することにより、防災意識を高め、随時マニュアルの更新も行った。</p> <p>●収支の総括 障子の張替えや雨戸波板外れ等の小破修繕は職員自らの手で行い、なるべく支出を抑えるよう取り組んだ。事業については、客席数が少ないこともあり、収支バランスが非常に厳しくなってしまう。知名度向上のため、著名人を呼んでの事業も実施してきたが、収入のバランスも考えながら事業の企画を練る必要がある。日舞、能楽講座についても収支が厳しいため、対策を立てていく必要がある。特に能楽講座は受講生は増加したものの、欠席者が多いため収入に結びつけることができていない。講座受講のルールや支払いの仕組み、スタンプカード制度の見直し等、なるべく欠席しないような対策を検討していく。</p>	<p>久良岐能舞台の環境を活かした「怪談ナイト」や他の芸術分野のアーティストとのコラボレーションを行うことなど、久良岐能舞台の知名度向上に取り組んでいることが確認できました。施設の知名度向上や古典芸能の普及という点では、次世代育成に寄与する「4歳からの能楽」は高い評価を得ており、子どもを中心とした裾野の拡大や利用団体の活性化に向けた取組を継続していることを評価します。</p> <p>また、外国人取り込みに向けた工夫や、能楽鑑賞の初心者への対応など、様々な方が能楽を楽しむ事が出来る取組を評価します。</p> <p>一方、能楽や日本舞踊の講座等は、広報手法の見直しやターゲットの分析、利用者等のニーズに合わせた対応などの再検討を進め、公共施設として古典芸能に関わる愛好者の拡大に向けたさらなる寄与を期待しています。</p> <p>施設運営においては、施設の魅力を積極的にPRすることなどにより、施設自体の愛好者を取り込むことや、新たな利用者の掘り起こし、リピーターの確保等に引き続き努めてください。</p> <p>施設管理に関しては、庭園の維持管理等を中心として、きめ細やかな対応がなされていることを確認しました。また、ボランティアスタッフが庭園管理に関わるなど、地域の文化施設として市民協働を進めていることを評価します。今後も、職員間や本市との情報共有を徹底することにより、施設の長寿命化を見据えた維持管理を継続して行ってください。</p> <p>元年度は、コロナウイルス感染予防により全館閉館がありました。公共施設として、引き続き適切な対応を行うとともに状況に合わせた柔軟な企画の実施を期待します。</p>